

「経営手法」テーマに講演会

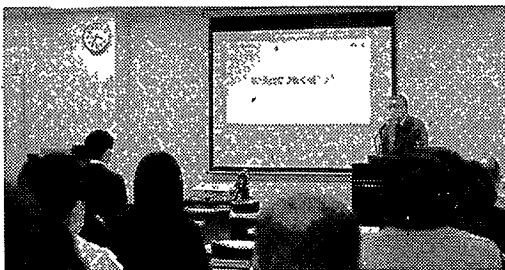
中部アイティ協同組合 35社が参加

中部アイティ協同組合(稲葉弘承代表理事)は28日、名古屋市中村区の愛知県産業労働センターとオンラインで中部地方におけるIT業界の動向や経営手法などをテーマとした講演会を開催した。名古屋市の中小企業を中心に約35社が参加した。

講演会では、アイ・オー・データ機器(本社石川県)の細野昭雄会長が経営に関する講演を行った。テーマは「東証一部からの非上場化、次世代につながる創業精神」。創業から東証一部上場、非上場化に至るまでの経緯や経営における考え方などについて語った。

細野氏は、「ユーザー最優先で考えることをモット

ーにこれまで経営してきた。最先端であればいいというものでは決していない。何が必要とされているかを大切にしなければならぬ」と強調。また、「無いものは自らつくる、あるものはうまくついに乗らないことが今の時代一番必要とされ



講演する細野氏

ている」とアドバイスした。同組合は、中部地区に事業所を構えるIT関連の中小企業で構成し、会員社数は現在134社。主な取り組みとして、組合企業同士のビジネスマッチングや人材採用社員教育の支援などを行っている。